

(株)タイカ、(株)モンベル、(株)ピラミッドジャパンより賛同・支援をいただいています。

<http://www.angkorclimbers.net/>

2023/9/15

ワールドカップに出た！ イタリア・オーストリア・スイスで3大会



6月30日 スイス ヴィラールにて ワールドカップ リード予選 左 ペトラー2本目 右 ヴィニット1本目

ワールドカップ出場の様子は本誌 p.5 でご紹介するグローバルフェスタの ACN ブースで映写します。

残念ながら、3大会とも予選落ちでしたが、彼らの奮闘の様子をどうぞご覧ください。

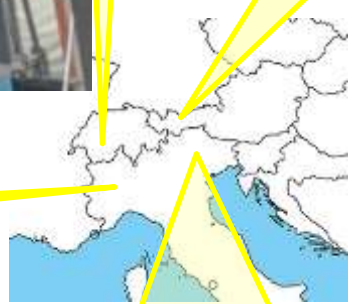
これは夢のような話でしたが、本当の話です。ACN の卒業生と現役高校生がワールドカップに出ました。オリンピックソリダリティプログラムの一環で、若いクライマーにもその機会が与えられ、IFSC(国際クライミング連盟)を通じ、イタリアを中心に6月1日~7月3日まで開かれる Youth Athletes Development Program にカンボジアからコーチ1名、選手2名を招待するという連絡が来たのです。EU のビザ取得に手間取ったため、初日からの参加はできませんでしたが、期間中に予定された3回のワールドカップにはすべて出場することができました。



6月30日ヴィーラール
リード



6月14-17日インスブルック
ボルダー リード



主な研修地 トリノ

6月9日 ブリクセン ボルダー予選 ペトラー 1ゾーン取れた
<https://www.ifsc-climbing.org/index.php/world-competition/calendar/?task=resultathletes&event=1296&result=3>
こんなふうに、上位入賞者と同じ成績表に載っています。上記2大会も同様にIFSCの大会カレンダーページから見られます。
女子の予選は午前中、ミラノの空港に到着してからすぐ出場
<https://www.ifsc-climbing.org/index.php/world-competition/calendar/?task=resultathletes&event=1296&result=7>



宿舎でピザを焼く



Angkor Wall 移転の進捗

リード、スピード、ボルダー 壁



左は
入口から奥
右は
奥から入口の方
を見た写真
8月はじめに撮
影しました。もう
完成間近です。
この構造では、
もとの人工壁から
持っていった
資材はほとんど
不要になりました。
左の白い壁
のトイレと下部コン
クリートの一部が、
ACNの移転費用
でできました。この
ジムの総工費の10%
以下です。



この、カナダ人クライマーJamesさん所有のKingdom Climbing Gymは、カンボジアクライミング連盟事務局長である我らのスムロン先生の夫人の所有地に建ちました。ここに連盟の事務所とSiem Reap Climbing Schoolが入る予定です。当初教育用壁と呼んでいましたが、スクールはむしろ入居者のような形となります。年内には完成し、国内選手権大会を開催する予定です。



2022年1月
解体運搬



2023年7月
Chikoの大家
さん宅玄関へ
運搬

ボルダー壁 Chiko Family Boulder



商用ボルダー壁として2022年5月にソフトオープンしたものの、コロナや遺跡地区移転問題で予定通りに進まなかったこちらは、大家さんのアナコットカンボジアに買い取っていただき、名前も改めて2023年4月からオープンしました。今のところ、大家さん宅の子供たちが交代で掃除をしたり、店番をしたりしています。同敷地内のカンボロックのホールドを使い、ACNのバーンがルートセットをしています。

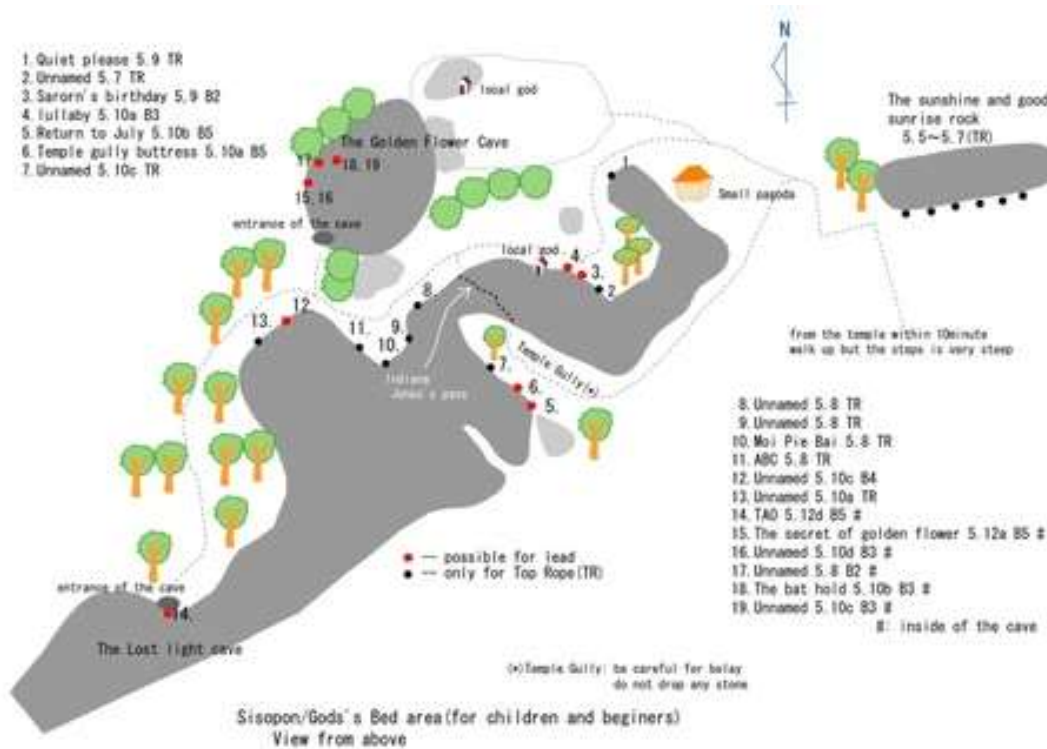


サイズ順に整理されている靴箱、英語・クメール語で書かれている規則、値段表、カンボジア人料金も設定するようになり、自立への道を歩かだしています。

自然の岩に登る

2011年にACNはカンボジアのガイドブックを発行しました。一部のルートは道路工事で破壊されましたが、多くは残っています。このガイドブックの残部がないかという問い合わせも年に数件は来ていますが、もう残部はありません。著者の伊藤忠男は故人ですので、共著者のスムロン先生の許可をもらい、英訳者の塚内尚子さんには少し手直しをしていただいて、原本ファイルを、Kingdom Climbing GymのJamesさんに送り、適宜theCragのウェブサイトに掲載してもらうようお願いしました。

<https://www.thecrag.com/climbing/cambodia/area/6613916283>



するとたとえば、theCrag → Asia → Cambodia → Banteay Meanchey の順に見ていくと、「神々の寝床エリア」と呼んでいるこの左図のようなところが出てきます。

ところどころなじみの顔写真も登場します。そこへ行ったら書き加えることもできます。

今やこうやって世界中の人々と、クライミングの情報は無料で交換できるようになっているのですね。図中の言葉は無理ですが、説明文は、和訳もすぐに出すことができます。ぜひ一度ご覧になってください。

SVA PREY(森の猿)コンペ

昨年から復活したプノンペンのプノンクライム主催のボルダリングコンペです。今年は少し遅く、10月末に行うという連絡をもらっていますが、詳細は未定です。ACNとしては、昨年同様、シムリアブの選手たちの派遣費用を支援する予定です。なるべく中学高校の試験と重ならないように要望していますがどうでしょうか、。

ホールド製作

まだ試作品しか作っていないので、会社を作ったともいえないし、個人商店というレベルでもないかもしれませんが、ACNの本家に残るバラン君は、本業のホテル勤務のかたわら、ホールドを作っています。カンボロックという製作所です。はじめは高校の化学の教科書から作り方を考えたそうです。

以下 ACN 代表浅井のメッセージです。

自分たちでホールド作りを思い付き、研究して、テストして、ここまでやってきた彼らのモチベーションを次の世代にも繋げたい。その想いで、私はこのカンボロックプロジェクトを始めました。こちらのホールドの売上の一部はカンボジアで孤児の支援をしている団体アナコットカンボジアに売上還元されます。ホールドを1つ購入されると、カンボジアの子供たちの食事の約10食分が賄えます。学校に行く。食事が出来る。寝る場所がある。何かあったら救急車がすぐ来る。といったことがカンボジアでは十分に達成されていません。人間が生きていくためにお金は必要です。そして彼らの製品が国際社会の中で認められ、彼らの働き方が次世代に影響を及ぼす時、それは一つの希望になります。自分たちの手で自分たちの人生を作れるという希望です。その希望の広がる先を私は見てみたいのです。



国内活動 通常総会

8月19日佐久平ロッククライミングセンターにて ACN の通常総会を開きました。事業報告等を承認し、その後、都庁と調布市への届け出もすみました。

書式第12号（法第28条関係）

令和4年度 事業報告書						
令和4年7月1日から 令和5年6月30日まで						
特定非営利活動法人アンコール・クライマーズ・ネット						
1 事業の成果						
以下の事業を実施した。						
2 事業の実施に関する事項						
(1) 特定非営利活動に係る事業						
事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
1. スポーツクライミングの普及啓蒙	・シエムリアップ州内道標のクライミング講習会を毎週末、土曜日に実施	2022.7~2023.6月	カンボジア/アンコールボルダージム・チゴリアファミリーボルダー	日本人0人、カンボジア人10人、その他100人	シエムリアップ州内中高校生100人	32
2. 交流会、講習会、親睦会の開催・運営の啓蒙	・首都圏の親睦会実施指導等	2022.7月~2023.1月	カンボジア/パワアップジム	日本人2人、カンボジア人7人、外国人6人	カンボジア人8人	81
3. 関連地域住民との親睦的交際の促進、人工壁分設移転など	・人工壁維持運営等現地活動	通年	カンボジア/アンコールボルダージム他	日本人2人、カンボジア人0人	カンボジア人0人	542
4. 前号に掲げた事業を行う際の、個人への支援	・カンボジアクライミング講習会への活動資金補助	通年	カンボジア/カンボジアクライミング講習会事務局	カンボジア人0人	カンボジア人0人	54
5. その他、目的を遂行する為	・国内での現地情報紹介他	通年	日本国内グローバルフェスタ参加等	日本人10人	主として日本人60人	40
						計 750
(2) その他の事業						
当該事業年度は実施しなかった。						

書式第13号（法第28条関係）

令和4年度 活動計算書			
令和4年7月1日から 令和5年6月30日まで			
特定非営利活動法人アンコール・クライマーズ・ネット			
(単位:円)			
科目	金額		
I 経常収益			
1 受取会費			218,000
三会員受取会費			
2 受取寄附金	278,640		
受取寄附金			
受取振替基金	360,000		
3 受取助成金等			638,640
協賛金			0
4 事業収益			0
事業収益			
5 その他収益			0
受取利息			0
経常収益計			856,640
II 経常費用			
1 事業費			
(I) 人件費			
給料手当	429,300		
福利厚生費	0		
人件費計	429,300		
(II) その他経費			
諸謝金	0		
印刷製本費	15,169		
通信交通費	0		
寄附費	3,300		
通信運搬費	30,900		
消耗品費	1,177		
現地活動費	144,724		
施設賃借費	185,300		
器具備品費	18,200		
支払手数料	200		
雑費	0		
その他経費計	320,490		
事業費計			749,790
2 管理費			
(I) 人件費			
人件費計	0		
(II) その他経費			
その他経費計	0		
管理費計			0
経常費用計			749,790
経常収支増減額			96,850
III 経常外収益			0
経常外収益計			0
IV 経常外費用			0
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			96,850
当期正味財産増減額			96,850
前期繰越正味財産額			-51,745
当期繰越正味財産額			-44,895

国内活動 グローバルフェスタ

今年もお台場じゃなかった、、、でも、オンライン会場もあるということは、遠方からも参加できるということです。ぜひのぞいてみてください。



9月30日

10月1日

カテゴリ		
海外関連	国・NGO	民間団体/大学/その他
メインステージ (リアル会場&オンライン配信)	サブステージA (オンライン配信)	サブステージB (オンライン配信)
10:00-11:15 オープニングセレモニー 「世界をつくる国際協力。仲間が多い方がいい!」		
11:00-12:45 池上彰さん授業 グローバルフェスタ JAPAN特別授業 「国際協力の中で見つけた ODAを分かりやすく解説!」	11:30-12:15 民間援助連携室	11:30-12:15 STUDY FOR TWO
12:00-14:00 尾木ママ他 海の向こうと隣の人へ、私に出来ること—あなたは 何に気づけますか?	12:45-13:30 国際機関 人事センター	12:45-13:30 アフリカ 野球・ソフト新興機構
14:15-15:30 町工場若人 モンスターエンタテインメントが聞く 中小企業の海外展開とODA	13:45-14:45 JICA海外協力隊	14:45-16:45 ジャカルタ・ジャパン・ネットワーク
15:30-16:30 『写真と音楽で平和を願う。GF』スペシャルステージ』 1部 外務省フォトコンテスト授賞式 2部 ダンス&ミュージック for Peaceful future	15:00-16:00 ヤマハ 発動機株式会社	15:00-16:00 LOOB JAPAN
		16:15-17:00 My TEDORI, My AFRICA チャレンジ!!

カテゴリ		
海外関連	国・NGO	民間団体/大学/その他
メインステージ (リアル会場&オンライン配信)	サブステージA (オンライン配信)	サブステージB (オンライン配信)
10:30-12:00 若者たちと語ろう、ODA! —社会課題解決に向けた 若者の挑戦—		
	10:30-11:30 エンチャルド	10:30-11:15 Little Bees International
	11:45-12:30 アムネステイ・インターナショナル日本	12:30-12:45 Social Innovation Fiji
12:30-13:30 世界の食料問題に挑む!	13:45-14:45 オイスカ	12:45-13:45 パレスチナの 子どもの服従運動 (JCCP)
14:00-15:00 —世界が直面する 社会課題に提案!— GF]国際協力アイデアアピッチ by NGO X NEXT PLAYERS	14:00-14:45 障害分野 NGO連絡会 (JANNET)	14:00-14:45 アジアキリスト 教育基金 (ACEF)
	15:00-15:45 株式会社EMA	15:00-15:45 国際開発学会
16:00-16:45 紛争や混乱に揺れる国で 活躍する日本人女性	16:00-16:45 地球の友と歩む会/LIFE	

ここにコピーしたイベント以外にも、さまざまな企画が予定されています。

<https://gfjapan2023.jp/> をご覧になって、訪問の時間帯を、お考えください。



ACN はここです 地下 2 階 出口の前

東京国際フォーラム ホールE2/ロビーギャラリー
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

【電車でお越しの方】

■JR線

有楽町駅より徒歩1分
東京駅より徒歩5分
(京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)

■地下鉄

有楽町線：有楽町駅 (B1F地下コンコースにて連絡)
銀座線：銀座駅より徒歩7分/京橋駅より徒歩7分
千代田線：二重橋前駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩7分
丸ノ内線：銀座駅より徒歩5分
三田線：日比谷駅より徒歩5分



カンボロックのホールドも手に取ってご覧になれます。



おなじみ「がんばるぞうさん」クロマー、T シャツもあります。ワールドカップや、カンボジア選手権大会の動画も見せます。カンボジアの岩場やハイキングコースのご案内もします。

From ACN' s Desk : 事務局から

・NPO法人としての会員は現在52名、会員として継続的な支援をお願いします

■特定非営利活動法人アンコール・クライマーズ・ネット (日本事務局)

ACNへ入会をご希望の方は、随時下記宛て、郵送、電話、メール、のいずれかでお知らせください。一般個人会員の年会費は¥5,000です。事業年度(7/1~翌年6/30まで)に対応して納入をお願いしています。みなさまの支えがカンボジアの青少年の、健全な成長を継続する確実な助けになります。

〒182-0025 東京都調布市多摩川 5-3-1-506 tel. 042-498-2488 Email: info@angkorclimbers.net

・寄付・寄贈 2008年にNGOとしてスタートしてから 2023/8/31 現在までの、寄付金累積総額は、¥11,627,492+ US\$22,865

となりました。また、里親基金累計総額は、¥6,380,000 +US\$2,280 です。大変ありがとうございました。

2023年3月~8月までに、ご寄付、ご寄贈、里親出資いただいた方は次の通りです。なお、本お知らせは、ニューズレターと連携して対応する期間に寄付された方のお名前だけを本誌にて、順次お知らせしています。

- 一寄付 木村まり子様、富田徹様、高橋千鶴子様、佐藤未帆様、門多真理子様、林武子様、清水不二様
 一寄贈 ※寄贈及び奉仕活動をもってご支援いただいた方も含みます。アナコットカンボジア様、高木智子様、中道桜様、
 (有)多摩川青果食料品店様、佐久平ロッククライミングセンター様、安田至宏様、塚内尚子様 Lisa Twaronite 様、
 福神和子様、有泉重正様、林武子様、伊藤洋美様、 そのほか Tシャツ、クロマー、頑張るゾウさん、などを通じてご協力い
 ただいた方々のお名前は都度記録していませんが、ご協力どうもありがとうございました。
 一里親 堀田圭子様、才原明男様 榎澤健治様

★★★ 寄付及び会費専用口座 ★★★	☆☆☆ アンコールクライマーズネット連絡先 ☆☆☆
■ゆうちょ銀行 記号 10010 番号 75286831 口座名 アンコールクライマーズネット ■三菱UFJ銀行 支店名：調布支店 預金種目：普通預金 口座番号：0081781 口座名：アンコールクライマーズネット	■アンコールクライマーズネット（日本） 〒182-0025 東京都調布市多摩川5-3-1-506 tel. 042-498-2488 ■アンコールクライマーズネット（カンボジア） Angkor Climbers Net (ACN) tel. +855-(0)70-411-722 Bale Huy バラン 英語・クメール語 ■Web サイト http://www.angkorclimbers.net/ ■ email info@angkorclimbers.net

新しい Facebook は <https://www.facebook.com/angkorclimbersnetcambodia>

移転地連絡先 Chiko Family Boulder +855-(0)70-411-722 Bale Huy バラン 英語・クメール語

<https://www.facebook.com/chikofamilyboulder>

Siem Reap Climbing School +855-(0)-92-336 924 Seam Rorn スムロン 英語・クメール語

ゴールが見えてきたかな？

Editor's note

わたしたち ACN は、1.クライミングを通じてカンボジア青少年の健全育成をはかる。2. カンボジア人が、カンボジア人クライマーを安全に継続的に育てていけるようにする。という目的で、2008 年からシエムリアップで活動してきました。今期は、もしかするとゴールが見えてきたのかもしれないと思われることが続きました。その一つが表紙～p.2 オリンピックソリダリティプログラムへの参加です。これまで、カンボジアオリンピック委員水泳コーチ(スムロンの恩師)の故ヘムトン氏から手取り足取りの指導を受けてカンボジアクライミング連盟を作るところからはじまり、スポンサーのタイカさんから国際連盟 IFSC 年会費や選手登録費用の支援をいただき、日本山岳クライミング協会から手続きの方法を教えていただいてやっとカンボジアは IFSC に加盟することができた。つまり、カンボジアのクライマーが自力で加盟したわけではなかったのですが、今回のプログラム参加は、シンガポールで行われた IFSC の会議に出席したスムロン事務局長が、カンボジアクライミング連盟の窮状を訴え、自力で交渉して選手派遣の機会を得てきたのです。もう一つは、p.3～p.5 で紹介している Chiko Family Boulder と Camborock の活動です。同敷地内にあるこのボルダ一壁とホールド製作所は、それぞれカンボジア人クライマーが企画運営しています。時々「ACN のウォールがなつかしいよー！」といった投稿が卒業生のフェイスブックに載ります。プノンペンのジムに就職していった仲間も含めて一緒に育ったクライマーたちがそれぞれの場所で活躍しているのが見えて頼もしいです。(Chimi)

Contents

アンコールクライマーズネットニューズレター

2023 年 9 月号 NO. 33 2023 年 9 月 15 日発行 非売品

- 01 ワールドカップに出た
- 03 Angkor wall 移転の進捗
- 04 自然の岩に登る
- 05 ホールド製作
通常総会
- 06 グローバルフェスタ

特定非営利活動法人アンコール・クライマーズ・ネット
 発行人 代表理事 浅井和英 編集人 事務局 伊藤明子
 発行 アンコールクライマーズネット (Angkor Climbers Net)

〒182-0025 東京都調布市多摩川5-3-1-506
 tel 042-498-2488 fax 042-498-2488

©禁無断転載

Website <https://www.angkorclimbers.net/>

Facebook <https://www.facebook.com/angkorclimbersnetcambodia>